

布草履注文 2ヶ月待ち



エンジェル支援の会

ボランティア
最前線

エンジェル支援の会(辰巳陽子代表)が作る布草履は、注文して手元に届くのに2か月待ち。「履きやすく、丈夫で長持ち」「デザインが素敵で可愛い」と口コミで評判が広がり、作るのが追

い付かない状態。

年間300足を販売し収益の一部をチベット、ネパールなどの恵まれない子ども達に寄付しました。

会は、辰巳さんがカレッジ生活環境コースを卒業した折、17期生を中心に呼びかけ、平成25年に発足。生環コースでは2年生有志を中心に夏休みなどにカレッジの教室を借りて布草履を制作、学園祭で販売し、売り上げはグループ学習のレポート誌の印刷代に充てるのが伝統。会はエンジェル(子ども)の支援が目的ですが、生環卒業生の交流の場でもあります。

会員は34人。毎月第2、第4月曜日が活動日。ひよどり台プラザで午前10時から午後4時まで。毎回10数人が参加します。「できる人が、できる時に、できる事をやる」のが基本スタンス。3月13日に取材に行った日は13人が参加。カレッジ卒業生だけでなく会員の近所の人や友達にも門戸を開いています。

プラザでは長さ13メートルの布を幅5.5センチに裁断、この布を半分に折り、ミシンで縫い合わせます。布を表に返してアイロンをあててきれいに伸ば

します。この布が布草履の土台の材料です。鼻緒は、長さ82センチ幅7センチの布を半分に折って縫い合わせ、その中に芯を通します。土台は、辰巳さんと山本都子さん(生17)らが家で作ります。布草履の土台に鼻緒を付けると出来上がりです。



チベット出身の歌手、バイマーヤンジンさんが進めているチベット学校建設に寄付。ネパール出身の山岳ガイドのインドラ・ジット・ラマさんを中心とした支援グループ「愛のかけはし」を通じネパール地震で被害を受けた学校再建の費用に寄付しました。

会結成以来、1000足の布草履を制作・販売し、昨年8月8日に記念パーティーを開催。ラマさんも参加し、子どもたちが楽しく学んでいる様子を報告していただきました。

手芸が好きな人が多く、弁当袋、ペットボトル入れ、ミニぞぶとんなども作っています。手を動かしながら、世間話が飛び交い、和やかな笑いが広がります。「今晚のおかず何にする」、「春になった、暖く助かる」、「〇〇レストランはおいしい」などが話題。みなさん「子どもたちの役に立っていると思うと張り合いが出ます」と口をそろえていました。

〈他の参加者〉池田八郎 田路義弘 太田治彦 吉村秀子 春日雅夫 斎藤登美子(以上生17)若林カズ 西尾律子(以上生18)中西孝子(国17)田淵千尋 岩崎節子(以上一般)の各氏 (文・写真 広報 永野知己、藤田健一)